

人生を導く 5つの目的

はじめに 「私は何のために生きているのか」

01日目 全ては神からはじまる

- 神の意図している自分になること
- 神がおられない人生になんの意味もない

02日目 全ては偶然に存在しているのではない

- 神はあなたを心待ちにしておられた
- 神はこの世界を創造する前からあなたのことを考えていた

03日目 あなたの人生を動かしているものは何か

- 目的がわかると人生に意味が与えられる
- 目的がわかると人生がシンプルになる
- 目的がわかると人生のしょうてんが定まる
- 目的がわかると生きる意欲が生まれる
- 目的がわかると永遠への準備が整う

1. 私の独り子イエスに対してあなたはどのような態度を取られたか
2. 私があなたに与えたものを、あなたはどのように活用しましたか

04日目 永遠に生きるものとして作られた

- 人生はリハーサル、天国が本番
- 今日1日を人生最後の日だと思って生きる

05日目 神の視点から人生を見る

- あなたは人生をどのように見えますか？
- 地上の人生はテストである
- テストに合格した人達
 - ヨセフ
 - ルツ
 - エステル
 - ダニエル
- 神の臨在が感じなくなるというテスト
- 地上の人生は預かり物
- 3つの報い
 - ねぎらい
 - 昇進
 - お祝い

06日目 人生は一時的な務めである

- 2つの心理
 - 永遠の視点から見れば人生はとても短い
 - 地上は一時的な住まいに過ぎない

- 霊的グリーンカード
- この世の誘惑を楽しむ == 霊的姦淫
- 「永遠に続かないものは永遠に役に立たない」 C.S.ルイス

07日目 全てのことの意味

- 究極：神が神ご自身であられること
- 栄光を帰すのに失敗したもの
 - 墮落した天使
 - 人間
- 5つの目的
 - 神を礼拝することによって
 - 他のクリスチャンを愛することによって
 - キリストに似たものになることによって
 - 賜物を用いて他の人に仕えることによって
 - キリストを伝えることによって
- キリストを信じ受け入れる

第一の目的「あなたは神の喜びの為に作られた」

08日目 神の喜びのために作られた

- 神に喜ばれる行為は"礼拝"と呼ばれる
- 礼拝とは
 - 呼吸や食事と同等の自然なもの
 - 礼拝は音楽を遥かに超えたもの
 - 礼拝は自分のためにあるのではない
 - 礼拝は人生の一部ではなく、人生そのものである

以下は全て礼拝の一貫
祈り
賛美
沈黙
説教を聞くこと
献金
聖餐
聖徒の交わり

09日目 何が神を微笑ませるのか

- 人生の目標は神に微笑んでいただくこと
- ノアの人生を見習う

- 何よりも神を愛する時、神は喜ばれる
- 第一の戒め「心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ」
- 例え納得できなくても神を信頼すること
 - 陸の上に船を作ること
- 心から神に従う時、神は微笑まれる
- 部分的に従うことは間違い、完全に従うこと
- 神を賛美し神に感謝することで微笑まれる
- 自分の能力を発揮する時神は微笑まれる
 - プログラミングでもよい

10日目 礼拝の本質

- 礼拝の本質は降伏すること
- 自分自身を捧げることが礼拝の全て
- 幸福を妨げる3つの要因
 - 恐れ
 - プライド
 - 混乱
- 先ず神への信頼が不可欠
- 自分の限界を認めること
- 降伏は「自分の人生を犠牲にしてあえて苦しみを受け入れること」
- 神に全てを明け渡す == 心の平安
- 自由になる
- 降伏は唯一の生き方

11日目 神の親友になる

- 神はあなたの親友に成りたい
- 週に一度教会に通い聖書を読んで祈っただけでは足りない
- 古典的書物「敬虔な生涯」
- 全ての活動を神と共に
- 絶えず御言葉を思い巡らせる

12日目 神との友情を育む

- どれだけ神と親しくなれるかは自分の洗濯に掛かっている
- 神に対して正直になる
- ときには文句をいい、時には批判し、言い争うことすらあった
- ダビデたちの情緒豊かな告白を読みながら、神が望まれ礼拝がどういうものか学ぶ
- 例え理解できなくても従うことで友情ははぐくまれる
- 神が大切にしておられることを大切にする

13日目 神に喜ばれる礼拝

- 以下を神は喜ばない
 - いい加減な献身
 - 曖昧な服従
 - 残り物の時間
 - お金
- 正しい礼拝を喜ばれる

- 神は心からの礼拝を喜ばれる
- 自然体が最も良い礼拝スタイル
- 教本「聖なる小道」
- 思慮深い礼拝を喜ばれる

14日目 神を遠くに感じるとき

- 神が喜ばれるもの
 - 感謝
 - 賛美
 - へりくだること
 - 悔い改め
 - 献金
 - 祈り
 - 他者への奉仕
 - 困っている人とのシェア
- 臨在が感じられないことは一生に何度もある
- 神ご自身よりも体験を求めてること == 間違い
- 感じられるままを申し上げる
- 変わることはない神のご性質に焦点を当てる
- ヨブの賛美する理由
 - 神は良いお方で、愛に満ちている
 - 神は全能である
 - 神は私の人生のすべてをご存知である
 - 神は全てを支配しておられる
 - 神は私の人生に計画をお持ちである
 - 神は私を救って下さる
- 神があなたのためにしてくださったことを思い出す
- 神に見捨てられてると感じながら信頼できる == 最も高レベルの礼拝

第二の目的「あなたは神の家族になる為に作られた」

15日目 神の家族となる為に作られた

- 神の家族となること
- 神の所有物は神の家族のもの
- 霊的な家族関係は血縁関係より大切
- 5つの豊かな遺産
 - 永遠に神と共に
 - キリストと似たものに変えられる
 - 全ての苦しみから開放される
 - 新しい奉仕の場が与えられる
 - キリストの栄光にあずかる
- 永遠の視点に立って生きること
- 洗礼は神の家族の仲間入りをするを指す

16日目 一番大切なこと

- 生きるということは愛するという事

- 兄弟姉妹で愛し合うということが重要
- 最も有意義な人生とは「愛に生きるということ」
- いつまでも残るものは信仰と希望と愛
- 愛を示す最善の方法は一緒に時間を過ごすこと
- 愛を先送りにはしてはならない、助けられるときに助ける

17日目 あなたの属するところ

- 交わりから離れて生きてはならない
- 他者との関係の中でこそ、自分の役割を見出すことが出来る
- 教会はこの世が終わっても存在し続けます、あなたの役割もまた
- 教会はあなたが純朴な信者であることを証明する
- 教会はあなたが自己中心的な孤立主義に陥るのを防ぐ
- 教会はあなたの霊的成長を促す
- キリストの体はあなたを必要としている
- 教会はキリストの使命を担う
- 教会はあなたが信仰から落ちないように支えてくれる

18日目 人生を共に経験する

- 経験を分かち合うことも交わり
- 何も発言できない程の人数の多いグループはふさわしくない
- 全員が積極的に参加できる人数は12人
- 本当の交わりとは腹を割って話せる仲
- 仮面を剥がしての会話
- 互いの人生に責任を持ち支え合うこと
- 本物の交わりには同情がある
- 本物の交わりには憐れみがある

19日目 共同体を育てる

- 共同体を育てるには献身が必要です
- 正直になる必要性
- 謙虚になる必要性
- 思いやりを持つ必要性
- 秘密を守る必要性
- 頻繁に集まる必要性
- 9つの交わりの特徴
 - 真正性
 - 相互性
 - 同情
 - 憐れみ
 - 正直さ
 - 謙遜
 - 思いやり
 - 秘密厳守
 - 頻度

20日目 壊れてしまった交わりを回復させる

- 交わりを回復するための7つのステップ

- 問題の相手と話す前に神と話す
- 自ら行動を起こすこと
- 相手の気持ちを理解すること
- その問題における自分の非を認めること
- 問題を指摘しても相手を責めないこと
- 出来る限り協力すること
- 解決ではなく和解を強調すること

21日目 あなたの教会を守る

- 教会の一致を守るのは自分の責任
- 違いではなく共通点に着目する
- 教会は自分を含めて罪人の集まり
- 批判するのではなく励ます
- 噂話を聞くことすら避ける必要がある
- 牧師や指導者を支える
- 指導者を敬うことは交わりを守ること

第三の目的「あなたはキリストのようになる為に作られた」

22日目 キリストのようになる為に作られた

- 人間だけが神の形
- 人格的に成長すること
- 一歩踏み出す瞬間に聖霊の力が降りてくる
- 神は御言葉と人々と状況を用いて私達を整えられる
- 長くゆっくりとしたプロセス

23日目 どのように成長するのか

- 霊的成長は自動で起きない
- キリストの弟子になる気概
- 達成に務める
- うちに働いて
- 人生を変えたいなら考え方を変える
 - 自己中心/利己主義等の未熟な考えを変える
 - 成熟した考えを始める
 - 子供引退
 - 他人を優先

24日目 心理によって作り変えられる

- 霊的成長とは偽りを心理によって置き換える
- 神の言葉で神と似たものへと変わる
- 御言葉の権威を受ける
- 御言葉の心理を自分の物にする方法
 - 受け入れる
 - 読む
 - 調べる
 - 覚える
 - 思い巡らす

- 邪魔するもの
 - 閉じた心
 - 表面的な心
 - 気の散りやすい心
- 毎日30分聖書読む => 1年で2周

25日目 問題によって作り変えられる

- 人生のどん底ほど親密な礼拝が出来る
- ローマ人への手紙 8章28~29節の誤解
- 外側での出来事は内側ほど重要じゃない
- 喜び・感謝する
- 決して諦めない

26日目 誘惑を通じて成長する

- 全ての誘惑は善を行う機会
 - 愛
 - 喜び
 - 平安
 - 忍耐
 - 親切
 - 善意
 - 誠実
 - 柔和
 - 自制
- の反対が誘惑
- 神の助けを求めることで回避

27日目 誘惑に打ち勝つ

- 注意を別のものに向ける
- 自分の葛藤を正直に分かち合う
- 悪魔に立ち向かう
- 自分の弱さを認める

28日目 時間がかかる

- 成長に近道はない
- どれだけ早く成長ではなくどれだけたくましく成長が重要
- 何故時間がかかるか
 - 私達の理解が遅い
 - 捨てなければならないものが多い
 - 自分の現実を直視することを恐れている
 - 成長に痛みと恐れが伴う
 - 習慣化するのに時間がかかる
- 急がないこと
- 神と共に居ることを信じる
- ノートや日記を付ける
- 神と自分に対して忍耐強くあること

- 落胆しないこと

第四の目的「あなたは神に仕える為に作られた」

29日目 与えられた務めを受け入れる

- 神に仕えるために造られた
- 神に仕えるために救われた
- 自分のことにしか関心がないなら、自分の人生にキリストがいるか疑おう
- 全てのクリスチャンが奉仕に召されている
- 霊的成長の目的は与えるものとなること
- 永遠の人生に備える
- 他者への奉仕と人生の意義
- 奉仕こそ意味ある人生に通じる道

30日目 神に仕えるために作られた

- 神に仕えるために造られた
- 神にとって何一つ無駄ではない
- 任務に必要なもの
 - 霊的賜物
 - 心/情熱
 - 能力
 - 個性/性格
 - 経験

31日目 自分の形を理解する

- すべての能力は神からきている
- 全ての能力が神の栄光のために用いられる
- 自分の出来ることをやる
- 自分の個性を活かす
- 自分の経験を用いる
 - 家族の経験
 - 教育の経験
 - 仕事の経験
 - 霊的な経験
 - ミニストーリーの経験
 - 痛みの経験

32日目 神から与えられたものを用いる

- 神が何を望んでいるのか見極める
- 自分の能力を性格に評価する
 - 得意なこと
 - 苦手なこと
- 自分の情熱と性格を考慮する
- 過去の経験が学んだ事を引き出す
- 自分の形を受け入れる
- 自分の形を育てる

33日目 真の僕はどのように行動するか

- 人に仕えることで神に仕える
- 下僕となること
- 真の下僕は仕える準備ができてる
- 真の下僕は人々の必要に気を配る
- 真の下僕は今あるもので最善を尽くす
- 真の下僕はどのような務めにも等しく情熱を注ぐ
- 真の下僕は自分のミニストーリーに忠実
- 真の下僕はいつでも縁の下の力持ち

34日目 しもべのように考える

- 下僕は他人優先
- 下僕は所有者ではなく管理者のように振る舞う
- 下僕は自分に集中して、他人と自分を比較しない
- 下僕のアイデンティティはイエス・キリスト

35日目 弱さの中に働く神の力

- 神は弱さを抱えた人々を用いられる
- 自分の弱さを認める
- 自分の弱さを受け入れる
- 自分の弱さを正直に分かち合う

第五の目的「あなたは使命の為に作られた」

36日目 使命の為に造られた

- 使命のために造られた
- キリストの使命の継続
- 弟子づくり命令を実施すること
- 永遠の命を得る方法を伝える
- あなたの使命は人生に意味を与える
- 「父よ、私の願いよりも、みこころのとおりにして下さい」

37日目 ライフメッセージを分かちあう

- 神のメッセンジャー
- ライフメッセージ4つの要点
 - 救いの証
 - 人生の教訓
 - 信仰的情熱
 - 福音
- 証
 - キリストと出会う前の人生はどうだったか
 - どのようにキリストが必要であると思ったか
 - どのように自分の人生キリストに委ねたか
 - キリストによって人生がどのように変わったか

38日目 ワールドクラスクリスチャンになる

- 他人に仕えるために救われた
- 自分中心ではなく他人中心
- 世界規模で考える
- 永遠の視点で考える
- 宣教プロジェクトに参加する
- 目的
 - 礼拝
 - 交わり
 - 成長
 - 奉仕
 - 伝道

39日目 人生のバランスを保つ

- 心を尽くして神である主を愛せよ
- あなたの隣人を自身のように愛せよ
- 行ってあらゆる国の人々を弟子としなさい
- バプテスマを受けなさい
- すべてのことを守るように伝えなさい
- 定期的に自己評価

40日目 目的を持って生きる

- 目的宣誓文を作る
- 何を人生の中心に据えるべきか
- どんな品性を身につけるべきか
- どんな貢献が出来るか
- 誰に福音を伝えるべきか
- 誰と交わりを持つべきか

41日目 嫉みの罠

- 妬みは行動を制限する
- 人と比べることを辞める
- 他人を共に祝福する
- 与えられるものに感謝する
- 公平に思えない時は神を信頼する

42日目 八方美人の罠

- 人を喜ばせると神のみこころが見えなくなる
- 信仰の成長が妨げられる
- 他の罪に巻き込まれる
- 偽善的になる
- ライフメッセージが語れなくなる
- 人に認められる必要はない
- 神に喜んでもらうのみ